

パタンの書き方

はじめてのパタン執筆者のためのラフなガイド

Tim Wellhausen

kontakt@tim-wellhausen.de
http://www.tim-wellhausen.de

Andreas Fießler

patterns@fiesser.de
http://patterns.fiesser.de

翻訳：本橋 正成

MOTOHASI, Masanari
motohasi@cultureworks.jp

翻訳レビュー：羽生田 栄一

Reviewed by HANYUDA, Eiji

November 30, 2011

イントロダクション

パタン・ライティングは、クリエイティブで反復的なプロセスである。しかし、新しいパタン執筆者にとって、どこから始め、どのように進めるかは明らかではない。よく書けたパタンは厳密な形式に従っているにも関わらずたくさんの形式が可能であるため、はじめてパタンを執筆する際にその形式の利点と不利な点を知る事なしに特定のフォーマットを選んでしまっている。しかも、新しいパタン執筆者は、最も良いパタンを書く順番は公開されていないことを気にも留めてこなかった。

パタンを書くことは、とてもよく知っているドメインへの、予期しない深い理解をしばしば作り出す。パタンの構造は、パタンが解決する現実の問題と、解決策を適用することによって起こる結果について、もっと深く考えるように奨励する。そして、引き続く反復的なアプローチのそれぞれのサイクルで新しい洞察を獲得する。

このペーパーは、簡単でありながら完全な形式のパタンを書くステップバイステップのガイドを目論んでいて、パタン・ライティングのスムーズな学習曲線を目的とする。ゴールは、パタン会議にパタンを提出できるようにすることだ。

このペーパーは、二つのパートに分かれている。パタンについての会話で、解決策からパタンへの変形についてのファシリテートする知識をゆっくりと示している。第2部は、現実的なステップバイステップのガイドを含んでいる。

第1部：パタンについての会話

パタン・ライティングに隠されている議論のデモをするために、あなたが壁に止まったハエのように観察しながら、よく知られた解決策についてのティムとアンディの会話だ。

アンディ:やあ、ティム！パタンとして書きたい解決策について考えているって言うって聞いたね？今、やってみない？

ティム:うん、やろう！錠前について考えている。錠前についてなんでも知っているって思っているでしょ？それを今、試してみようよ。

アンディ:錠前？なるほど。どんな種類の錠前を考えてるの？南京錠？

ティム:ドアロックを考えてる。ほとんどすべてのドアにあるんだ。なぜあるんだ？

アンディ:もちろん、たくさんのドアに錠前はある。それがどんなに特別ななの？

ティム:錠前は、未承認の立ち入りに対して貴重品を守ることをするよ。

アンディ:そうだね。しかし、鍵なしで錠前は完全になるの？

ティム:そう、合っている鍵だけが錠前を開ける。鍵を簡単に持って行くことができ、いつでも貴重品にアクセスできるんだ。それでも、他の人へ鍵をあげると、あなたがいなくても貴重品にたどり着けるよ。

アンディ:確かに、すっきりした解決策のようだね。一文（ひとつのセンテンス）に、まとめられる？

ティム:やってみるね：合っている鍵を使うメカニズムは、ドアの開閉を許可するか防ぐのどちらかである。

アンディ:いいね、問題について考えてみよう。なぜ錠前を使いたいなの？

ティム:貴重品を守りたいから。

アンディ:確かに。でも、解決策のメインポイントじゃないんじゃない？防御するだけなら、ドアを板張りにもできるんじゃない？

ティム:そうだね、より具体化しなくっちゃ。僕たちは、物をキープしたいビルや部屋のようなスペースについて話している。未承認の立ち入りからこれらの物を守りたい。

アンディ:そう、私たちはそこに保管された物に簡単にアクセスしたいし、同時に他の人たちがそれを取ることを難しくしたい。

ティム:そして選ばれた他の人たちとは、それらの物へのアクセスを共有したいんだ。

アンディ:それは、いい感じだね。何が問題なんだろう。

ティム:選ばれた人たちとそれらの物へのアクセスを簡単に共有したいし、同時に未許可のアクセスからそれらの物を守りたい。

アンディ:だから、固定されたドアを開ける部屋の文脈で、解決策はこうなるべき：合った鍵でのみ開閉できるドアと取り付けられた部屋に貴重品を保管しなさい。

ティム:いい感じだね。どうやって錠前が動くのかももう少し詳細に記述しなきゃだね。

アンディ:困難な質問だね。実施は、本当にたくさんの種類の鍵と錠前があるから。もっと深掘して、もっとパタンを見つけない。鍵を操作する錠前の内部について考えなくちゃ。

ティム:錠前の内部が魅力的なのは疑いない。でもね、今のパタンにフォーカスしない？

アンディ:あーそうだね。我々の解決策に集中しよう。終わってなかったよね。

ティム:で、次は何だっけ？

アンディ:問題領域にもっと近づこう。なぜ、問題は解くのが難しいの？合った鍵と錠前なしでできる世界ってどうやるの？

ティム:まずプライバシーや個人所有者がいることは前提だよ。少なくともしきりに他の人から奪いたがる人々がいる社会ではね。

アンディ:この文脈では重要な側面だね。みんなが他人の所有物を尊敬しているからという理由で、家や車に施錠前しないユタ州、スカンジナビア、ニュージーランドにいるご近所さんを知っている。

ティム:だから、悪意のある人々がいると思ったとき、鍵や錠前なしでは、自分の貴重品を守れなくなってしまう。

アンディ:ドアを板張りにしてしまう、という私の反対意見について考えようよ。

ティム:確かに。貴重品を安全に保管したい、と同時に、僕ら2人と選んだ人たちが簡単にアクセスしたいね。

アンディ:似たような解決策と、私たちの解決策は、どのように区別できるの？合った鍵がある錠前に替わりコンビネーションロックの考えはどうなの？

ティム:自分の心の中に記憶しておくということはしたくない。そして、事前に許可した人たちから貴重品へのアクセス許可を取りやめることはできるようにしたい。もし鍵が元に戻れば、その人は施錠前された貴重品にそれ以上到達できない。

アンディ:大切なフォース（フォースは、問題を解決する上での制約条件のこと）だね。課題や不利な点が判明する：アクセスするための鍵がほとんどの人には簡単に複製できない。そう、それは利点でもある：侵入者が鍵のコピーを作ることを難しくさせる。だから、すべての自分の鍵の場所を知っていれば、自分の所有物は安全だとわかる。しかし、もし鍵を失えば、すべての錠前を交換する必要がある。

ティム:良い点だね！最初の質問にもどろう。南京錠の困難なところは何だろう。

アンディ:ドアロックは、ドアの両側から施錠前できる利点がある。南京錠の利点は、固定された錠前をなくしたどこかでもなにかを施錠前できることだろうね。そして、鍵が悪人の手に落ちたとき、もっと簡単に交換することができる。

ティム:これは確かにドアロックの課題だね。両側からドアを施錠前できることを望むことを含むよう、どのように問題文を拡張できるだろうか。

アンディ:もし鍵と錠前の例が適用できるような状況が失われそうであれば、コンテキストをもう一度小さくしよう。これは、とりあえず容易な状況で考えてから、後でもう一度コンテキストを拡張できるよ。

ティム:じゃあ、そうしよう。これは何についてでだろう。家を所有していて、家にいるかいないかに関わらず、中にある所有物を守りたい。

アンディ:これは、コンテキスト？それとも問題？

ティム:コンテキストは「家を持っている」。問題は「家にある所有物を守りたい」。

アンディ:いい感じだね。パタンの名前はたぶん「ドアロック」だよ。

ティム:今、それ以上いい名前は考えられない。

アンディ:そう、僕たちの考えを要約して、ノートを作ろう。どうやって分類するの？

ティム:文を問題領域と解決領域に分けることがいいだろう。



問題領域

- ・ 家を持っている
- ・ 部屋には、開けられるしっかりしたドアがある
- ・ プライバシー、または個人の所有
- ・ 悪意のある人たち

- ・ 所有物と、自分自身を守る
- ・ 未承認の立ち入りをブロックする

- ・ 秘密をメモしたくない。
- ・ 安全に貴重品を保管
- ・ あなたは簡単な立ち入り、他の人は困難
- ・ 選ばれた他の人と立ち入りをシェア
- ・ 許可を簡単に取りやめる。
- ・ 内部からでも外部からでも操作できる。

解決領域



- ・ 別名：ドアロック、鍵と錠前、選択的な立ち入り
- ・ すべてのドアへ施錠前の機構を導入する
- ・ ドアを開けることを何度も許可もしくは不許可
- ・ 合った鍵で操作
- ・ 両側から行ける

- ・ 鍵の複製は困難
- ・ 鍵が悪人の手に落ちたら錠前を交換

アンディ:いいドラフトだね。なにか大切なことを見落としている？

ティム:僕たちは、確かにできたよ。しかし、始まりの約束だね。ノートから完全なパタンへ変換へは、何をするのかな。

アンディ:パタンは、段落の集まりではないんだ。パタンの構造を見てみよう。

ティム:オッケー。僕たちの思いをパタンに洗練する次の反復を実施する前に、概要を確認してから始めよう。

第2部：執筆者の道

このガイドは、いくつかの独立した段階に分かれている。これらの段階は、あなたの書くべきパタンのすべてのセクションを案内する。この方法は、複雑すぎることを除けば、我々の経験したものでは簡単に作ることができる方法だ。他の方法もあるかもしれない。特に、書くことは一方通行の直線的なプロセスではないので、既にかいたことを訂正するためになんども戻ることには躊躇してはいけない。一度、書き終えたら、最初から始め直すことをよく考えなさい。

クイックオーバービュー

パターンは、少なくとも五つのセクションが含まれている。：コンテキスト（文脈）、問題、フォース、解決策、そして（良いのと悪いのとの）結果である。

- ・ **コンテキスト（文脈）** セクションは、そのパターンが行うステージを並べる。
- ・ **問題** セクションは、実際の問題(problem)が何かを説明する。
- ・ **フォース** セクションは、なぜその問題が解決困難かを記述する。
- ・ **解決策** セクションは、その解決策を詳細に説明する。
- ・ **結果** セクションは、その解決策を適用すると何が起こるかを明らかに示す。

ほとんどのパターン成果物では、セクションはこの順番になっている。残念ながら、この順番にパターンを直線的に書くのはとても難しい！

この図1は、パタンのセクションを見せ、我々が提案する書く順番を示している。あなたが、特定の解決策が何度も使われているか、もしくは何度か目にしていて想定している。しかし、あなたは、どの問題を解決しているかを正確に知らないのかもしれない。たぶんベストであろうと知っている解決策から書き始めることを我々は提案する。

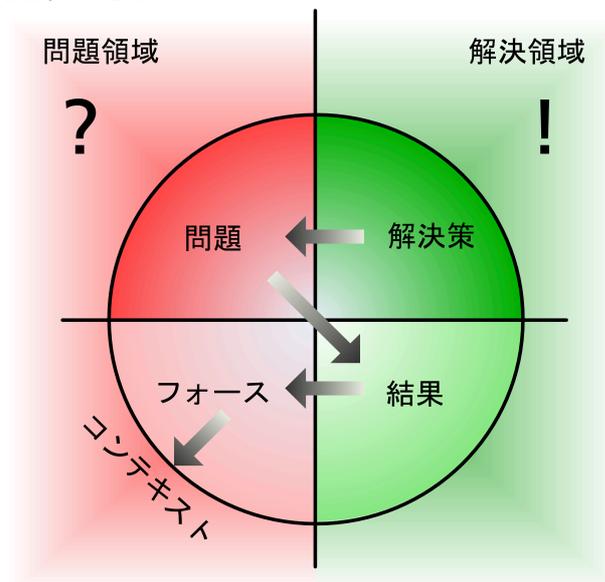


図 1: パタンの主要なセクションと書く順番

パターンを書くことは、反復的なプロセスである。いったんそれぞれのセクションのドラフトを作ったとすると、それから何度か再考する必要があるだろう。

次のステップは、それをどのように行うのか説明する。それぞれのステップは、改訂する対象としてドアロックパタンを徐々に発展させる。何を書きたいのかを探索しよう

あなたが、心を奪われているアイデアや物事、プロセスについて多方面に渡る知識を持っていて、書こうとしている領域のエキスパートだと想定する。それ以外にも、いくつかの物事の側面から見ている。答えられる質問は：

何のパタンなのか？

- ・ 特別なことをさせるのは何か。
- ・ 何が含まれ、何が含まれないのか。
- ・ 似たようなアイデア、物事、プロセスから、どのように区別することができるか。
- ・ 知っている例は何か。

完全に文（センテンス）や段落を完全に書こうとはしないで、次の段階において便利で助かるようなノートを書き下ろしなさい。

解決策から始めよう

ノートをざっと眺め、解決策をもっとも良く記述できるような側面を確認しなさい。二～三の短い文章で、その解決策をあなた自身か同僚に伝えなさい。信号が赤になったとき友達に会う以上の時間をかけてはならない。それから、その要約した解決策をひとつかふたつの短い文章で書き下ろしなさい。これらの文章は、あなたのアイデアを理解する領域（ドメイン）に精通しているだけかに伝えるのには十分だろう。

解決策の本質的なコアは何か？

解決策のとても短いエッセンス（本質）としていくつかの別名を収集しよう。ここではまだ一つに決める必要はない。

今、詳細を明らかにすることをスキップした。本質に集中しよう。解決策の「あ、それだ！（Aha-）」効果はなんだろう。解決策について考えると、解決策を気が利いたようにさせる側面が出てくるかもしれない。もし解決策に至るような特別な働きがなかったら、結果セクションに取りかかるまで別の紙にノートしなさい。

ドアロックパタンの例から、このような解決策が認識された。

解決策

開けようとされることをしないドアは、合っている鍵ではドアの両側から何度も操作できる装置を取り付けよう。

解決策を引き出す問題を記述しよう

解決策から問題への切り替えは難しいが、極めて重要なステップである。問題を記述したとき、この問題の解き方を知っていると友達に伝えて感動させるかもしれないと考えよう。もし解決策が解く的確な問題をわからないと、「なぜ？」「だからどうだって言うのだ？」と何度も何度も尋ねるかもしれない。

なぜ解決策が妥当か？

解決策は、本質的にどんな問題を解決するのか？

もう一度、要約した問題を短い文章に限定しなさい。

「～は、どうやるの？」という質問を作ろうとしないでください。軽く書けるなら、それは「～せよ！」セクションを終わらせたくなくなる気持ちになる。これらの質問は、平凡で終わらせる高いリスクになる。

とらえた問題文を練り上げるためには、解決策を適用しないとなぜ世界が悪くなるかについて考えなさい。このフレーズは説明的な文にできる。解決策によって成し遂げられるゴールを明確に書く。

問題文は本当に解決策へマッチしているかどうかを確認しなさい。問題と解決策の文章両方を声に出して読みなさい。その解決策は、本当にその問題の答えなの？もしマッチしていないなら、たぶん少なくともどちらかを見直しなさい（たぶん、両方とも何度も！）

問題:

ビルへのアクセスを管理したい。

結果を続けよう

なぜその解決策は気が利いているのか、解決を適用した結論を記述することで、ふさわしい結果にすっかり変えるのか、ノートを取ろう。

最初は、その解決策を適用する利益について考えよう。もしその解決策を適用したら何が起きるのか、にフォーカスするのだ。もし答えることが難しいのなら、もしその解決策を適用しないなら何が起きるのかを考えよう。

それから、その解決策に関連している不利な点や課題について考えよう。その解決策を適用したとき、読者は何を認識する必要があるのか？欠点は存在するのか？結果は、利点と課題のリストとして記述される。

もし解決策を適用すると何が起るのか？

結果:

利点:

建物の中にいて出かけるとき、ドアを簡単にロックできる。鍵を持っていない誰かは入ることは困難である。

課題:

鍵は複製することが困難であるべきなので、限られた数だけしか持てない。だから、あなたが望むように、たくさんの人々が同時に建物にアクセスすることはできない。

問題を難しくするフォースを書き留めよう

なぜ問題を考えて解決策の発見が難しいのかの理由を見つけてみよう。その解決策が魅力的であるから、そのフォースを考えつくことが難しいかもしれない。それでもなお、フォースは、その問題が初見より解決しにくいことを読者に気づかせる必要がある。フォースは緊張を作り出す。

完全なパターンでフォースは、いくつかの可能性のある解決策をたったひとつに絞り込む。フォースを見つけるため、与えられた問題に対して可能性のある解決策について考える。いかなる代替案でもその問題を解くことができず、あなたの解決策によって解消されるフォースを目的にしなさい。

なぜその問題は解決が難しいのか？

フォース:

建築物を守りたいが、いつも家にいることはできず、誰かに身の持ち回り品を見ておくようお願いすることもできない。たとえ、家にいるときでも平穩に過ごすため、あなた自身と持ち回り品を同時に守りたい。

結果にフォースをマッチさせよう

さて、解決策の結果をより深く考え、フォースにつなげるときだ。

フォースと結果は、ひとつのコインの両サイドである。フォースは問題を難しくさせるなにかだ。解決策によってどのようにフォースが解消するか、良くなるかそれとも悪くなるか、対応する結果を説明する。

適切なパタン構造を作り出す形式的な側面は、すべてのフォースが結果によって確かに解消されることである。その逆からとらえると、すべての結果は対応するフォースによって動かされる必要がある。もしフォースが解決策によって解消されないのであれば、たとえば、その解決策を適用した後もまだフォースが残っているのであれば、それはむしろパタンのコンテキストの部分である。

初めて見ると、それはたくさんの1対1の関係性を持っているだろう。この（結果をフォースにマッチさせる）トラックを続けることで、あらゆるフォースとあらゆる結果を分けた段落にし、そして、段落のタイトルを合わせなさい。もしフォースが利益と課題の両方を同時に解消しても驚いてはいけない。

すべてのフォースが、一つ以上の結果をしめしているか？

フォース:

許可の保管：許可は簡単に使え、保管は確実にすべきだ。

結果:

利点:

許可の保管：鍵が物理的なものだとすると、いつでも簡単に鍵を選んだり取り出したりでき、望んだ通りにいつでも施錠前や解錠前ができる。

課題:

許可の保管：鍵の複製は困難であるべきなので、限られた数の鍵しか持つことができない。だから、同時に多くの人を建物へ立ち入りさせられない。

コンテキスト (文脈)

パタン全体のための段階を構成する必要がある。それはコンテキストだ。コンテキストは、コンテキストの外側に問題は存在しないけど、同時に解決策によっても変わらずにある側面と要求からなっている。コンテキストは、問題を適用したときでも変わらない。コンテキストは、読者の問題がパタンにフィットするかどうか一目で分かるよう特定することを助ける。

コンテキストを思いつぐために、問題に隠された仮定について考えなさい：いつ、どのようにその問題があるのか？もし解決策によって解消されないけれども問題を難しくするフォースが特定できるなら、それらのフォースはコンテキストの一部なのかもしれない。

どのような環境下で、その問題が起こるのか？

コンテキスト:

泥棒には魅力的であるかもしれないので、あらゆる人々が自由に建物へ立ち入りさせることができない地域にある家の所有者である。その建物は、ドアを通じて立ち入ることができる。

名前

すべてのパタンに名前が必要である。名前は、パタンのコミュニケーションにおいて最も大切な意味を持つ。あらかじめ収集していた別名をもう一度見よう。良い名前は、パタンの解決策の本質的な核心を楽に思い出させる。ほとんどの場合、キャッチーな名前として名詞句が合う。しかしパタンが物事よりプロセスを記述しているのなら、動詞句がよりふさわしいだろう。いずれの場合も名前は短く、そして思い出しやすくあるべきだ。

解決策を思い出せる名前は何か？

パタン・ライティングで名前について考える最適な場面はない。名前は、よりよく要約された解決策である。解決策を理解しようとしたとき、なぜあなたの心にぱっと出てくるからである。しかし、すべての他のセクションと一緒に、一巡しただけでは完了は難しい。

名前:

ドアロック

ふたたびコンテキスト、問題、そしてフォーース

今、パタンとしてすべてのパタンのセクションを構成した。もう一度、問題の領域を考えるとときだ。

解決策とその結果を記述することや広げるとは、解決策がうまく行くことをわかっているのだから、めったに難しくはない。コンテキスト、問題とフォーース間を区別することは、しばしばもっともやりがいがある。

特定の文章がどのセクションに入るのが明確ではないときは、次のちょっとしたルールが助けになるだろう。

- ・ 問題の文は、短くキリッとさせなさい。
- ・ 背景として説明しなくてはならないすべてのことは、コンテキストのパートにする。
- ・ なぜ問題は難しいのかという記述のすべては、フォーースのパートにする。

セクションの順番

パタンの構造付けとラベル付けには異なった方法がある。「アレグザンダー形式 "Alexandrian Style"」と呼ばれる方法は、セクションをまったく明確に分けない。ここで示されたパタンの形式（フォーマット）は、クリアでシンプルであることの利点がある。

ここでは、あなたのセクションを、推薦したパタンフォーマットへ並べ替えてください：名前、コンテキスト、問題、フォーース、解決策、結果である。

おめでとう！あなたは、初めてのパタンを作りました。

では、これまでのところで、ドアロックパタンがどのように発展したのか見よう。

ドアロック



コンテキスト:

泥棒には魅力的であるかもしれないので、あらゆる人々が自由に建物へ立ち入りさせることができない地域にある家の所有者である。その建物は、ドアを通じて立ち入ることができる。

問題:ビルへの立ち入りを管理したい

フォーース:

- 選択されたアクセス権：あなたと選ばれた誰かだけが確実にそのビルに立ち入りできるようにしたい。そのほかの人は立ち入りさせない。
- 防御：建物を防御したいが、いつも家にいることはできないし、誰かに所持品を見ておくこともできない。あなたが家にいるときでさえ、平和に過ごすため所持品とあなた自身を守りたい。
- アクセスしようとする労力：侵入者の中には中に入ることは困難でありながら、あなたは建物への立ち入りがどんなときにも簡単であるべきだ。
- 許可の保管：許可は簡単に使え、信頼して保管できる。
- 許可の変更：他の人が立ち入りしやすくすべきである一方、この許可を簡単に取り消しできるようにすべきである。

解決策:

ドアの開け閉めを許可もしくは防止するため、合った鍵でドアの両側から繰り返し操作できるよう、あらゆる建物のドアに機構を導入しなさい。

結果:

利点:

- 防御：あなたが建物の中にいるとき、もしくは外出中に、ドアを簡単にロックできる。入るための鍵無しではそれはできない。
- アクセスしようとする労力：鍵は、簡単に安全な保管ができる軽い物体である。
- 許可の保管：鍵が物理的な物体であれば、どんなときにも簡単に持つ

て行くことができる、その結果、望んだときにいつでもドアの施錠前と解錠前ができる。

- ・ 許可の変更：ビルへ立ち入る機会を選ばれた人に与えるため鍵を渡せ、いつでも鍵を返してほしいと訪ねることができる。

課題:

- ・ 選択されたアクセス権：許可を得られた人々へ鍵を物理的に配布する必要がある。
- ・ 許可の保管：鍵の複製が難しいため、限られた数しか持てない。だから、好きなとき同時に多くの人々が建物に立ち入りさせることはできない。
- ・ 許可の変更：一人の方から鍵を取り消すことも、一人の方に鍵を渡すことも、可能である。しかし、もし鍵が不正使用され（もしくは紛失し）、どこにも立ち入りできなくなってしまうたら、すべての錠前と鍵を取り替えるべきである。錠前の鍵の交換は、相当の労力がかかる。

例:

ロックされた正面ドアは、効果的に家に入らないようにする。それを乗り越えるためには犯罪的な労力が必要になる。もし休日が続くなら、植物に水をやりたりペットにえさをあげたりするため信頼できる誰かに鍵を渡すことが簡単にできる。

ガレージの戸は、車を壊されたり盗まれたりすることから保護するため施錠前される。しかしながら、もししばらくの間、施錠前されたガレージにある車を誰かに貸すときは、車の鍵とガレージの鍵をあげるだろう。一つだけでは、とても使いにくい。

関係するパターン:

南京錠はたくさんの特性を持つ、しかし、ドアの両側から操作することはできない。利点として、簡単に変更できる。

コンビネーションロック(Combination Lock)は、アクセスコードを知っていれば誰でも開けることができる、物理的な物を渡すことなく簡単にアクセスコードを伝えることができる。しかしながら、どれだけ多くの人がアクセスコードを知っていて、通り抜けることができるかを知ることができない。

ドアロックパターンができたとき、例や図表によってパタンの拡張をお勧めしたい。関係するパターンや資料などについて考え、該当する場合は付け加えることもできる。

次のステップ

しばらく、そのパターンを脇に置きなさい。いったん後ろに下がると、たくさんの側面を改善できることに驚くだろう。著者がドアロックパターンを完了したとき、現時点のパタンを読みやすく簡単に理解できるように洗練するために何度か繰り返す。

まず最初は、パターンを完全な状態にしなさい。それは、上で説明したすべてのセクションと、それらの構成部分となる質問の答えをセクションに必ず入れてください。それから、ペーパーを同僚や友人に渡し、出来る限りたくさんのフィードバックを集めなさい。

あなたのパターンが良いかどうかどうやって知れば良いのか？

ある分野の熟練者であっても、パタンへのセカンド・オピニオンを得ることはとても役に立つことに気づく。このようなことをファシリテートするためにパタンコミュニティは「シェファードディング（羊飼いのように案内するの意味）」と呼ばれるメカニズムを作った。

最初のパタンは、完璧でなくてよい！

シェファードディングは、パタン執筆者が他人や経験のパタン著者からフィードバックを得るプロセスである。シェファードディングは、繰り返しのプロセスだ。特に、著者は受け取ったフィードバックを組み入れ、ほかのコメントを次々にくれるシェファード（羊飼い）に改訂版を送る。個人的なコーチのこの形式は、執筆者の経験に関係なく、ものすごく進歩するので、すべての執筆者の助けになる。

シェファードディングは、PLoP シリーズのパタン会議([5], [6])で、すべてのペーパーの受理する前提である。だから、もしシェファードがいる利点が好きだったら、PLoP 会議にペーパー提出する必要がある。これらの会議で、パタンを発表する上でのフィードバックの得る手助けが主に行われる。シェファードされたペーパーは、とてもやりがいのある形式を持つ会議のライターズ・ワークショップで議論される。

どうやってシェファードを見つけるのか？

パタンペーパーを投稿し、自分自身を見いだそう！

さらなる情報

一般的なパタンについてや書き方に言及されたところはたくさんある。ベストな次に続くものは、ここで記述したアプローチととても良く似たパタン・ライティングのアプローチをとっている「Advanced Pattern Writing ([1])」を読むことだ。引き続き、パタンランゲージについて、少し深く掘り進める。パタンの書き方について、もっとより描写している A Pattern Language for Pattern Writing ([2])を利用しよう。それは単純なパタンたちからパタンランゲージへと範囲を拡張する。最後に、シェファードを対象にしているが、執筆者のためのたくさんの情報が含まれている「シェファードディングのランゲージ」がある。

パタンの世界への広範囲に渡る一般的なイントロダクションは、POSA 5: On Patterns and Pattern Languages ([4]) で見つけられる。

Acknowledgments

First, we would like to thank Didi Schütz. Several discussions with him helped us gain deeper insight into the art of pattern writing ourselves. This paper was submitted to EuroPLoP 2011. We are very thankful to our shepherd Neil Harrison who pointed out many important aspects how to improve the paper before and even after the conference. During the conference, we got many further suggestions for improvement from the participants of workshop C: Klaus Marquardt, Markus Gärtner, Mandy Chessell, Jörg Pechau.

References

- [1] Neil B. Harrison: Advanced Pattern Writing – Patterns for Experienced Pattern Authors, in: Pattern Languages of Program Design 5, edited by Dragos Manolescu, Markus Voelter, James Noble. Addison-Wesley, 2006.

http://hillside.net/europlop/HillsideEurope/Papers/EuroPLoP2003/2003_Harrison_AdvancedPatternWriting.pdf

- [2] Gerhard Meszaros, Jim Doble: A Pattern Language for Pattern Writing,
<http://hillside.net/index.php/a-pattern-language-for-pattern-writing>
- [3] Neil B. Harrison: The Language of Shepherding,
<http://homepages.mcs.vuw.ac.nz/~kplop/Shp.html>, 日本語（長谷川洋一）訳
「シェパードイングのランゲージ」, <http://patterns-wg.fuka.info.waseda.ac.jp/japanplop/Translations/LoS-YH-01/LOS-YH-V0120.pdf>
- [4] Frank Buschmann, Kevlin Henney, Douglas C. Schmidt: Pattern-Oriented Software Architecture 5 – On Patterns and Pattern Languages. Wiley, 2007.
- [5] EuroPLoP conference website: <http://www.europlop.net>
- [6] PLoP conference website: <http://www.hillside.net/plop>